

## キャベツのアブラムシ類に注意！

- ・ 10月上旬の病害虫発生調査において、一部ほ場でアブラムシ類(図)の多発生が見られた。
- ・ 向こう1か月の気温は、平年に比べ高い確率が70%と予想されており、発生に注意が必要。
- ・ 葉裏に発生し、結球すると防除が難しくなり、品質が低下するので、発生初期に防除する。



図 アブラムシ類

## 防除方法

- (1) 葉裏に発生するので、ほ場をよく見回り、発生を認めたら、早期に防除を行う(表)。
- (2) 結球前の防除を徹底する。
- (3) 薬剤が葉裏にも十分にかかるように丁寧に散布する。
- (4) 薬剤感受性の低下を避けるため、系統が同じ薬剤の連用を避け、ローテーション散布する。

表 キャベツの主な防除薬剤

薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍率(倍)	使用時期	使用回数
モスピラン顆粒水溶剤	ネオニコチノイド <sup>*</sup> (4A)	2000 ~ 4000	7日前	5回以内
コルト顆粒水和剤	その他(9(B))	3000 ~ 4000	前日	3回以内
トランスフォームフロアブル	スルホキシミン(4C)	2000	前日	3回以内

●農薬の最新情報は、農林水産消費安全センターの農薬登録情報提供システムで確認してください。

農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム ([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))

## ●参考

Web 版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jppn.ne.jp/osaka/>)